

電話機の設定のカスタマイズ

次の表に示すように、設定を調整することによって、Cisco IP Phone を個人設定できます。この情報を利用するときは、次のヒントを参考にしてください。

- ほとんどの設定を電話機で行えますが、一部の設定については [ユーザ オプション] Web ページからオンラインでアクセスする必要があります。詳細については、P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
-  が反応しない場合、システム管理者が電話機でこのボタンを無効に設定している可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

音量の調節

次の表では、電話機の音量レベルを調節および保存する方法について説明しています。

目的	操作
コールの音量レベルを調節する	コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに  を押します。 以降のコールのために、この音量設定を保存するには、[保存] を押します。 ハンドセット、スピーカフォン、およびヘッドセットの音量設定は個別に調節する必要があります。
呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台に置かれていて、ヘッドセットとスピーカフォンのボタンがオフになっている状態で、  を押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。

呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ

着信コールまたは新しいボイスメッセージを電話機で示す方法を、回線ごとにカスタマイズできます。呼出音やその他のインジケータをカスタマイズすると、複数の回線をすばやく区別するのに役立ちます。たとえば、回線 1 の着信コールを鳥の鳴き声で示し、回線 2 の着信コールを太鼓の音で示すことができます。

目的	操作
呼出音を変更する	 > [ユーザー設定] > [呼出音] を選択します。電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。次に、呼出音のタイプを選択してそのサンプルを再生します。目的の呼出音を選択したら、[選択] および [保存] を押します。[キャンセル] を押すと、前回保存したときの設定に戻ります。[デフォルト] を押すと、選択された電話回線にデフォルトの呼出音の設定が適用されます。
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ビープ音のみなど）を変更する	[ユーザー オプション] Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから [電話の呼び出し音設定を変更] を選択します。必要に応じて、システム管理者がこのオプションを有効にします。
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	[ユーザー オプション] Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから [メッセージ受信のランプポリシーを変更] を選択します。通常は、デフォルトのシステムポリシーに従って、新しいボイスメッセージの受信時には常に電話機のランプが点灯します。

タッチスクリーンのカスタマイズ

必要に応じて、タッチスクリーンを調節できます。次の表を参照してください。

目的	操作
タッチスクリーンの明るさを変更する	 > [ユーザ設定] > [明るさ] を選択します。明るさを調節するには、[アップ]、[ダウン]、または  を押します。次に、[保存] を押します。[キャンセル] を押すと、前回保存したときの設定に戻ります。
タッチスクリーンの表示角度を調節する	 > [ユーザ設定] > [表示角度] を選択します。表示角度を調節するには、[アップ]、[ダウン]、または  を押します。次に、[保存] を押します。[キャンセル] を押すと、前回保存したときの設定に戻ります。
背景イメージを変更する	 > [ユーザ設定] > [背景イメージ] を選択します。利用可能な画像を表示するには、タッチスクリーンまたはナビゲーションボタンを使用します。[選択] を押して画像を選択します。背景の表示を確認する場合は、[プレビュー] を押します。選択メニューに戻るには、[終了] を押します。選択した画像を使用する場合は [保存] を押します。[キャンセル] を押すと、前回保存したときの設定に戻ります。
タッチスクリーンの言語を変更する	[ユーザ オプション] Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから [この電話のロケールを変更] を選択します。

短縮ダイヤル機能の設定

短縮ダイヤル機能を使用すると、ボタンを押すか、またはインデックス コードを入力することにより、コールを発信できます。

電話機に短縮ダイヤルを設定するには、次のいずれかの方法を実行します。

- 短縮ダイヤルをボタンに割り当てる：電話機の利用可能なプログラマブルボタン（回線、機能、またはサービスボタンとしてまだ設定されていない）に、短縮ダイヤル番号を割り当てることができます。
- 短縮ダイヤルをインデックス コードに割り当てる：電話番号を完全にダイヤルしなくても、固定短縮ダイヤル機能を使用して、割り当てられたインデックス番号（1～99）を入力できます。

次の表に示すように、いずれのタイプの短縮ダイヤル機能も [ユーザ オプション] Web ページで設定します。[ユーザ オプション] Web ページの詳細については、P. 55 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

目的	操作
短縮ダイヤル番号を電話機のボタンに追加する	<p>[ユーザ オプション] Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから 【短縮ダイヤルの追加または更新】 を選択します。</p> <p>【電話の短縮ダイヤル設定】 セクションで、利用可能な短縮ダイヤル ボタンごとに電話番号とラベルを入力します。自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように、電話番号を入力します。たとえば、必要に応じて「9」などのアクセスコードや地域コードをダイヤルします。</p> <p>入力したラベルは、タッチスクリーンの短縮ダイヤル ボタンの横に表示されます。</p>
固定短縮ダイヤル機能で使用する短縮ダイヤル番号を追加する	<p>[ユーザ オプション] Web ページにログインし、デバイスを選択して、メインメニューから 【短縮ダイヤルの追加または更新】 を選択します。</p> <p>【電話機のボタンに割り当てられていない短縮ダイヤル設定】 セクションで、利用可能な短縮ダイヤル ボタンごとに電話番号とラベルを入力します。自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように、電話番号を入力します。たとえば、必要に応じて「9」などのアクセスコードや地域コードをダイヤルします。</p>
短縮ダイヤル番号を削除する	短縮ダイヤルのいずれかの Web ページから、電話番号とラベルを削除します。

ヒント

- 短縮ダイヤル機能を使用してコールを開始する方法については、P.21 の「コールの発信」を参照してください。
- システム管理者は電話機に短縮ダイヤル ボタンを割り当てることができます。また、個人設定でできる短縮ダイヤル ボタンの数を制限することもできます。